



2021/11/30 開催

## 「with コロナの時代を支える社会貢献セミナー」2021

～新たな社会的孤立の現状と「誰一人取り残さない」地域共生社会の実現に向けて～  
ご登壇者プロフィール



### 【基調講演講師、コメンテーター】

#### 原田正樹氏（日本福祉大学 社会福祉学部教授）

日本社会事業大学大学院修了後、日本社会事業大学等を経て現職。日本地域福祉学会会長、日本福祉教育・ボランティア学習学会会長。厚労省地域共生社会実現本部「地域力強化検討会」座長、厚労省地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会委員等を務める。各地の地域福祉実践に関わる。中央共同募金会「企画・推進委員会」副委員長。

### 【コーディネーター】

#### 金田晃一氏（株式会社NTT データ 総務部 サステナビリティ担当 シニア・スペシャリスト）

ソニー渉外部通商政策課、米国大使館経済部、ブルームバーグ TV アナウンサーを経て、1999年より、ソニー（再入社）、大和証券グループ本社、武田薬品工業、ANA ホールディングス、NTT データの5社にて、サステナビリティの経営統合に携わる他、NGO/NPO と約40の協働プログラムを立ち上げる。英国レディング大学大学院修士課程修了（多国籍企業論）。

### 【パネリスト】（ご登壇順）

#### ・荒井佑介氏（NPO 法人サンカクシャ 代表理事）

NPO 法人サンカクシャ代表理事 1989年埼玉県出身。約12年前より、ホームレス支援や子どもの貧困問題に関わり始める。生活保護世帯を対象とする中学3年生の学習支援に長く関わっていたが、高校進学後に、中退、妊娠出産、進路就職で躓く子達を多く見たことから、NPO 法人サンカクシャを立ち上げる。

#### ・和田京子氏（NPO 法人伊賀の伝丸（つたまる） 代表理事）

1992年から約4年間インドネシアに在住。1999年「言葉の壁をのり越えて共に住み良いまちづくり」をめざし『伊賀の伝丸（つたまる）』を設立。2005年NPO 法人格取得。通訳・翻訳のコーディネーターや生活相談、自立支援を担当する。海外にルーツのある子どもたちの笑顔に励まされながら、多文化共生で豊かな町を目指し活動している。

#### ・世良和美氏（マツダ株式会社 総務部 地域リレーショングループ アシスタントマネージャー）

広島自動車メーカー マツダで、寄付、協賛等を担当している。これまでに、地域貢献活動やマツダ財団で市民活動支援等にも携わってきた。マツダの目指す、「クルマを通して人々が生き生きとした日々を過ごし、健康と利便性を享受できる社会的価値の提供」に向け、「人と共に創る独自性」を大切に、活動に取り組んでいる。

#### ・東郷琴子氏（パナソニック株式会社 オペレーショナルエクセレンス社

##### 企業市民活動推進部 事業推進課 主幹）

1999年より企業市民活動を推進する「企業市民活動推進部」に異動し、現在に至る。企業市民活動推進部では、「社会福祉」「環境」分野の担当を経て、2006年より「NPO/NGO 支援」を担当。現在は従業員の社会参画に向けた取り組みも担当。主なプログラムに、NPO/NGO の組織基盤強化に助成する「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」、ビジネススキルを活かした「プロボノプログラム」等がある。